

令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（株式会社樋口建設）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容>

導入機器：UAV写真測量一式、3次元設計データ作成ソフト 15名（建設会社：5社8名、県職員：5名、市町村職員：2名）

<参加者>

<工事概要>

工事名：広域（総）第64-3号 安芸川外 広域河川改修工事

工期：令和5年8月18日～令和6年3月17日

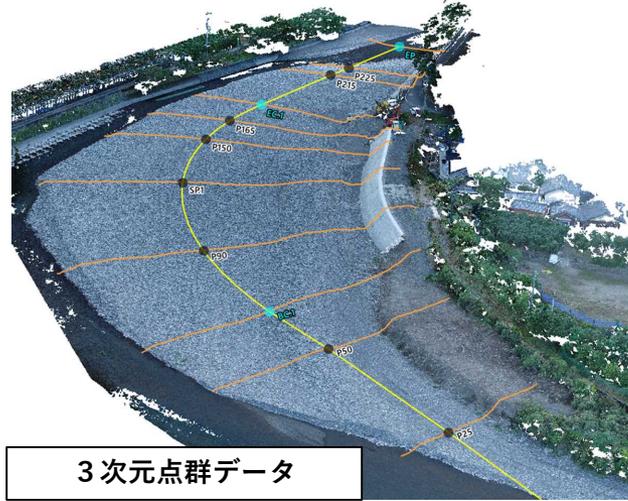
工事内容：河床掘削 V=7290m³

安芸川 V=5700m³

尾川川 V=980m³

見谷川 V=610m³

P64.904 (BC.1)
FH = 74.114



3次元点群データ



横断面



プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
3次元起工測量	Phantom 4 RTK (今回導入) Metashape (今回導入) TREND-POINT (今回導入)	4人・日	1人・日	-75%	短時間・少人数で測量ができました。
3次元設計データ	SiTECH 3D (今回導入)	0.5人・日	0.5人・日	0%	設計データ作成は数現場経験しており、今回は簡単なデータだったので短時間で完成した。
ICT施工	ICT建機 (リース)	30人・日	21人・日	-30%	3次元設計データを取込み丁張レスで施工できた。
3次元出来形管理	Phantom 4 RTK (今回導入)	4人・日	1人・日	-75%	短時間・少人数で出来形計測ができました。
合計		38.5人・日	24.5人・日	-36%	

施工者のコメント

従来工法よりも確実に省力化ができた。浚渫工事ということもあり、その効果が出やすかった工事ということでメリットを十分に感じられた。
これからは、ICTの効果が少ない工事でもICTを活用していきたいです。

発注者のコメント

補助金により導入した機器を有効活用できており、省力化の効果を十分に感じたとのことであった。浚渫工事以外にもICT施工を実施していただき、生産性向上に取り組んでもらいたい。